植生学会誌の表記に関する細則（この表にある以外の項目は執筆要領に準拠する．2024 年 5 月，植生学会編集委員会改訂）

	事　　項	植生学会誌で使用している表記の例	使用しない表記の例
1	和文原稿はピリオドとカンマを用い，句読点は用いない.	カンマを用い，句読点は用いない.	カンマを用い、句読点は用いない。
2	数字は原則的に半角を用いる.	2000 年 10 月 15 日，11 ヶ月，26 方形区	２０００年１０月１５日，１１ヶ月，２６方形区
3	4 桁以上の数値でもカンマはつけない.	456000	456,000
4	「かくらん」の字体は正しい字体のみ使用する.	攪乱	撹乱
5	必ず仮名書きにする語.	あらかじめ, ある, いずれの, おいて, およそ, および（接続詞）, かつ, ごとに, ころ, したがって（接続詞）, しばらく, すなわち, ため, なお, ならびに, ほとんど, まず, または, まで, もって, もちろん	予め, 或る, 何れの, 於いて, 凡そ, 及び（接続詞）, 且つ, 毎に, 頃, 従って（接続詞）, 暫く, 即ち, 為、尚, 並びに, 殆ど, 先ず, 又は, 迄, 以て, 勿論
6	結果の本文中における図表の引用は現在形で行う.	‥‥を図 5 に示す．表 3 は‥‥を示す. ‥‥are shown in Fig. 5.　Table 3 shows‥‥	
7	2 つ以上の図表を同時に引用する場合の表記は，右の例に倣う.	‥‥を図 1，2 に示す．‥‥であった（図 1-3）. ‥‥are shown in Figs. 1 and 2.　‥‥ (Figs. 1-3).	
8	数字と単位の間には半角スペースを入れる（%，角度の場合は除く）.	10.0 cm，20 mL 10%，35°41′22″	10.0cm，20mL 10 %，35 ° 41 ′ 22 ″
9	複合単位の表記は右の例に倣う．分数形式か指数形式かは，1 つの論文の中では統一する.	m/s，g/m^2 $m \cdot s^{-1}$，$g \cdot m^{-2}$	g/m/m，m s^{-1} （イタリックにしない．）
10	サイズの表記は「○ m×○ m」,「○ cm×○ cm×○ cm」などとし,「○×○ m^2」や「○×○×○ cm^3」は使用しない.	10 m×10 m，10 cm×10 cm×10 cm 100 m^2，1000 cm^3	10×10 m ，10×10×10 cm 10×10 m^2，　10×10×10 cm^3
11	演算子の前後には半角スペースを入れる.	A + B，25.0 ± 3.2，$n = 50$	A+B，25.0±3.2，n=50
12	本文中では，数式中の変数，検定統計量，有意水準などを表すアルファベットはイタリックにする.	X_A，Pi（変数） χ^2，t（検定統計量） P（有意水準）	X_A，Pi（変数） χ^2，t（検定統計量） P（有意水準）
13	「～」の記号は原則的に使用しない．数値間の場合は半角のハイフン「-」を用い，言葉間の場合は「から」と仮名書きにする.	12-25 m^2，50-60 ℃，西から東向き斜面	12～25 ㎡，50～60 ℃，西～東向き斜面
14	地名は最新のものを用いる．旧名が必要な場合は併記する.	埼玉県秩父市大滝字栃本（旧秩父郡大滝村字栃本）	埼玉県秩父郡大滝村字栃本
15	負の数値のマイナス記号には全角の「－」を用いる.	－10 ℃	- 10 ℃
16	学名の命名者名は IPNI（http://www.ipni.org/）の Standard form に従う.	Franch. et Sav.，Kuntze，Rchb. f.，Siebold et Zucc.，Thunb.	Franch. et Savat.，O. Ktze.，Reichb. fil.，Sieb. et Zucc.，Thunberg
17	植物社会学の植生単位の和名表記において，初出では必ず学名を用いた植生単位名を併記する．2 種以上の植物名を連結した植生単位の和名は，学名を用いた植生単位名と同順，逆順，または原記載の和名のいずれも使用できるが，1 つの論文の中では表記方式を統一し，その方式を必ず本文に明記する.	スズタケ－ブナ群集とヤマボウシ－ブナ群集が分布することが‥, ブナ－スズタケ群集とブナ－ヤマボウシ群集が分布することが‥, 　または, ブナ－スズタケ群集とヤマボウシ－ブナ群集が分布することが‥	スズタケ－ブナ群集とブナ－ヤマボウシ群集が分布することが‥
18	2 種以上の植物名を連結した植物社会学的な植生単位の学名表記において，群集名等の表記は命名規約に則る．“community” 等の規約外の名称は，和名表記の方式に合わせる．また，書体は右の例に倣う.	Sasamorpho-Fagetum crenatae, Saso-Fagetalia crenatae *Fagus crenata-Sasamorpha borealis* community　または, *Sasamorpha borealis-Fagus crenata* community （植物名を連結するハイフンの前後にスペースを入れない．）	Sasamorpho - Fagetum crenatae, Saso - Fagetalia crenatae Fagus crenata - Sasamorpha borealis community　または, Sasamorpha borealis - Fagus crenata community
19	引用文献の雑誌名はフルネームで表記する.	日本林学会誌，日本生態学会誌，Journal of Vegetation Science	日林誌，日生態会誌，J. of Veg. Sci.
20	本文中で複数の文献を引用するときは，異なる著者の論文の間はセミコロンで区切り，同じ著者の論文の間はカンマで区切る.	‥‥に成立している（大野 1986; 佐藤 1988, 1995; Ann & Oshima 1990; Sakio 1997; Sakio et al. 2002）.	‥‥に成立している（大野; 1986, 佐藤; 1988, 1995, Ann & Oshima; 1990, Sakio; 1997, Sakio et al.; 2002）.
21	本文中で複数の文献を引用するとき，同一著者の論文が複数ある場合は，最も発表年が早いものを基準として一ヶ所にまとめる．ただし，著者が同姓の別人である場合にはこの限りでない.	‥‥に成立している（大野 1986; 佐藤 1988, 1995; Ann & Oshima 1990; Sakio 1997; Sakio et al. 2002）. 「佐藤」が別人である場合 ‥‥に成立している（大野 1986; 佐藤 1988; Ann & Oshima 1990; 佐藤 1995; Sakio 1997; Sakio et al. 2002）.	

22	本文中で著者が 3 人以上の文献を引用するとき，筆頭著者が同一人物であれば，2 人目以降の著者が異なっていても，まとめて記載する.	‥‥に成立している（佐藤ほか 1988a, 1988b）.	‥‥に成立している（佐藤・田中ほか 1988; 佐藤・山田ほか 1988）.
23	本文中で編集者が著者名にあたる文献を引用するとき，著者名の後に「編」も文字はつけない.	‥‥に成立している（宮脇・奥田 1990）.	‥‥に成立している（宮脇・奥田 編 1990）.
24	インターネット上のデータベースやプログラムを引用するとき，著者名や発表年がわかっていても書誌情報が不完全な場合や，随時更新されるものである場合は，文献として引用せずに本文中に URL と参照年月を示す.	‥‥には R のパッケージ vegan ver. 2.5-7（https://cran.r-project.org/web/packages/vegan/index.html, 2020 年 11 月参照）を用いた.	…には R のパッケージ vegan ver. 2.5-7（Oksanen et al. 2020）を用いた.
25	引用文献の発行所の所在地は都市名を記載する．都市名が不明の場合のみ，州名または国名で代用する.	Academic Press, San Diego.	Academic Press, San Diego., California, U.S.A. Academic Press, U.S.A.
26	発行元が官公庁や自治体である報告書などを引用するとき，文献に発行所と所在地が明記されていない場合は，引用文献リストにおいて発行所と所在地を省略できる.	東京都 2012. 緑施策の新展開～生物多様性の保全に向けた基本戦略～.	
27	2 名以上の著者からなる欧文文献の著者名では “and” は用いず，“&” を用いる.	‥‥‥が知られている（Tsuda & Ajima 2025）. Tsuda, S. & Ajima, M. 2025. Viable seeds in the‥‥‥	‥‥‥が知られている（Tsuda and Ajima 2025）. Tsuda, S. and Ajima, M. 2025. Viable seeds in the‥‥‥
28	本誌集録論文における 2 名以上のローマ字著者名では，表題ページ，巻末目次ともに “and” を用い，書体は右の例に倣う.	**Mikiyo WADA and Takao KIKUCHI**（表題ページ） Wada, M. and Kikuchi, T.（巻末目次：事務局作成）	
29	連絡先著者の住所は，政令指定都市および県庁所在地の場合，都道府県名はつけない.	神戸市灘区鶴甲 1 丁目 2-1	兵庫県神戸市灘区鶴甲 1 丁目 2-1
30	巻がなく号だけの雑誌等の表記は，号を巻に置き換える.	津田　智 2022. 山火事跡地の植生. 火事, **5**: 1-25.	津田　智 2022. 山火事跡地の植生. 火事,（**5**）: 1-25.
31	巻・号のある雑誌で，巻としての通しページがなく，号としてのページだけがある場合は，（ ）付きの号番を入れる.	菊池多賀夫 2011. 丘陵地の植生配列. 立地の研究, **5**（2）: 1-10.	菊池多賀夫 2011. 丘陵地の植生配列. 立地の研究, **5**: 1-10.
32	見出し・小見出しには番号を付けない．また，見出しと小見出しはゴチック（ボールド）とする（ボールドは最終原稿に指定）.	■　**結果** **ブナ林の分布**	Ⅲ. 結果 1. ブナ林の分布
33	英文論文における和文の要約は，表題，著者名，所属のあとに改行して要旨を書き，箇条書きにはしない．書式は右の例に倣う.	■　**要約** 西九州のハマボウ群落の分布と生態．中西弘樹（長崎大学教育学部） 西九州において，ハマボウ群落の分布と生態，特に群落の大きさと生育地の海岸地形について調べた．ハマボウ群落が最も旺盛に‥‥‥	
34	和文論文の摘要は，目的から方法，結果，考察までの重要事項を箇条書きにする．書式は右の例に倣い，項目ごとに 1 字分下げる.	■　**摘要** 1. 湧水湿地の植生の植生配分を明らかにするため，地下水の流動に着目した. 2. 地下水位は観測井戸を用いて，地下水流動は長さの違う‥‥‥	
35	植物社会学的な表操作法に関連する表の英名は，右の例に倣う.	素表　raw table 常在度表　constancy table 部分表　partial table 識別表　differentiated table 要約表　summary/summarized table 総合常在度表（総合表）　synthesis/synthetic table または synoptic table 群集表　association table 群落表（組成表の総称）　community table	
36	植物社会学的な表において，識別種群を囲む枠線の線種は，群集が実線，上級単位が破線，下位単位が点線とする.	群集単位 ＿＿＿＿ 上級単位 － － － － － 下位単位 ‥‥‥‥	
37	植物社会学的な表において，種が出現しないセルには中点（・）を打つ.	・	-，ー